

健康登山者投稿作品

季節の絵手紙「のんびり健康登山」

八王子市 楊谷玲子 様



一步一步煩惱滅除

百八の階段を昇り、悩みや煩い事を取り除きましょう

七十四段 打算的に考えすぎない

打算的とは、物事を考えるときに損得を第一に考えることです。確かに効率的に行動することは大切ですが、自分にとっての目先の利益だけを追求することで、周囲の人達との軋轢を生まないようにする注意が必要です。

高尾山 季節散歩

暦の言葉

「七十二候」

桃始笑

三月十一日～三月十五日頃

桃のつぼみがほころび、花が咲き始める頃で、この「笑う」とは古い表現で、「花が咲く」という意味です。桃が大陸から日本に伝わったのは弥生時代と考えられており、中国では邪気を祓う神聖な木として信じられてきました。

今月の風物詩

ニシン

ニシンは、三月から五月にかけて北海道等にやってくるため、別名を「春告魚」という。日本では広く食用とされており、「身欠ニシンの甘露煮」や、魚卵の「数の子」などが有名です。一時期は漁獲高が減少していましたが、今では回復傾向にあります。

高尾山の昆虫

キタテハ

113



東京近郊では暦とは異なり二月が一番寒いようで、三月の声を聞いてやっと春の気配を体感してほっとする人は多いことでしょう。昆虫は長く寒い冬を幼虫で過ごす種が大半ですが、クワガタやオサムシ、テントウムシら甲虫の一部は成虫で朽木や土中、樹皮下等でそれぞれ冬越しをしています。冬に高尾を歩くと、天気の良い日であれば濃い黄色に黒斑の豹紋柄の蝶が日光浴をしている光景に出会い、心が和みます。

この蝶はキタテハ、漢字では黄縦羽で、その名の通り黄色を帯びた中型のタテハチョウです。

年に数回発生し、初夏に発生する個体群は黄色味が強くキタテハの名に相応しいですが、晩秋から発生し越冬する個体群は画像のようにオレンジがかり、ヤマブキタテハとも呼んだ方がピンと来るかも知れません。

タテハの仲間では成虫越冬するキタテハやルリタテハ等は木の洞等を越冬場所にしていてと思われすが、探し出すのは簡単ではなく、ポカポカ陽気に誘われて日向ぼっこに現れた個体と出会うのが一番だと思います。

(撮影・文松島 孝)

高尾山小物語 11

北条氏康の寺領寄進

絵・橋本豊治



為高尾薬師堂修理於武州一所寄進可申候 不断勤行本意祈念可有之者也仍状如件 永禄三年

十二月廿八日 氏康 (花押) (高尾山薬王院文書 北条氏康判物)

依怙地なるがよみんながら側を離れていくよ段々に

特別精進料理

「そば御膳」のお知らせ

本年も毎年ご好評を頂いております。「そば御膳」を実施しており、旬の食材を生かした料理を気軽に味わっていただけます。

ご予約を承らず御案内しておりますが、食材に限りがありますので早めの来山を御願致します。

期間 九月下旬まで

営業日 平日のみ(団体予約多数の場合は実施しない場合もありますので御了承下さい)

価格 千八百円

※ただし、四月二十七日～五月六日の大型連休期間につきましては、価格や実施日等が変更になる場合もありますので事前にお問い合わせ下さい。

特別精進料理「そば御膳」 1,800円 (11:00より受付開始)

※営業日の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。お電話で御照会下さい。

※料理の内容は季節や仕入れにより変わります。